

筆に思いを込めて

新春書き初め大会(共催・町教育委員会、町文化協会)が、1月7日に町民体育館で開催されました。122名が参加し、今年の目標や決意などを文字にしました。また、子どもたちが縦横160cmの半紙に、毛の部分が24cmの大筆を使い文字を書くアトラクションも行われました。大筆の重さや大きさに負けないよう体全体で支え「よいしょ」と声を出しながら、書いていました。



教育長賞(最優秀賞に相当)には「生命の神秘」という文字を書いた與那嶺沙音さん(西原中3年)が、選ばれました。

合唱は楽しいよ♪

琉球大学音楽科が合唱の楽しさを伝える「リズムで遊ぼう! みんなで歌おう♪」が、町内小中学生を対象として11月から12月にかけて、同大学やさわふじ未来ホールで行われました。音の高低やテンポを変えて演奏されるピアノの音に合わせて舞台を自由に歩きまわるコーナーでは、スキップしたり、忍び足になったりと、それぞれが感じたままに表現していました。



音楽の楽しさや表現の仕方を知った子どもたちは、さいごに舞台全体に響き渡る合唱を笑顔で体を大きく動かしながら披露しました。

ポスターで選挙をアピール!

「平成28年度明るい選挙啓発ポスター表彰式(沖縄県選挙管理委員会主催)」が12月16日に県庁で開催され、新川にこりさん(西原東小6年)が優秀賞を受賞しました。新川さんのポスターには、国会議事堂を背景として老若男女が描かれ「選挙に行こう!」、「みんなの税金をムダにしないで」という言葉が書かれています。



また、上原希天さん(西原東中2年)が佳作を受賞しました。

なぎなたで大活躍

12月11日に開催された第16回おきでん旗争奪第35回沖縄県なぎなた大会において、西原なぎなたクラブの瀬長拓夢くん(西原小4年)が個人試合の小3・4年生の部で1位、西原東中学校なぎなた部のAチーム(山田望来、山田蒼彩、仲宗根早希、与那嶺優)が団体試合で優勝しました。また、各部門で3位以内に入る好成績を勝ち取りました。



◀西原東中なぎなた部

五区対抗ソフトボールの結果は…

小那覇、安室、桃原、池田、我謝による第2回ソフトボール大会が、12月11日に西原南小学校で開催されました。小那覇と安室の2区対抗が始まった大会に、昨年からの他の3区が加わり5区対抗での大会となりました。初回は必ず区長が投球するルールで、各区長ともキャッチャーミットめがけて渾身のボールを、投げ込んでいました。ランニングホームランやダイビングキャッチも飛び出るなど、各行政区の意地がぶつかり合う、一進一退の攻防の結果、小那覇区が優勝し連覇を達成しました。



わったー まちの話題

安心安全なまちづくりを、郵便局と

西原町(上間町長)・西原郵便局(小波津久局長)・浦添郵便局(下地由恭局長)が、地域見守り活動の協力、道路損傷や独居者の異変、不法投棄の情報提供について協力することを定めた「地域における協力に関する協定」を、12月19日に西原町役場で締結しました。

上間町長は「協定締結により高齢者の見守りなどの安全確認、また不法投棄などの行政課題の解決に取り組むことができます」と述べました。



地域における協力に関する協定書締結式

消防出初式

平成29年東部消防組合「消防出初式」が、1月6日に同組合構内で開催されました。

式典(一部)で、組合管理者の城間俊安南風原町長は「今後も職務の重要性を深く認識し、心身や技術の鍛錬に努め、安全・安心なまちづくりに取り組んでほしい」と激励の言葉を送りました。引き続き行われた展示訓練(2部)では、消防署員による救助訓練や消防署員と消防団員による合同一斉放水など、日ごろの訓練の成果が披露されました。



式典

救助訓練

一斉放水

文化財コラム

移りゆく景色

歴史文化に関わる仕事をしていると、いろんな景色に出会うことがあります。たとえば、棚原公民館裏(南側)を通る文化財の石畳道。戦前は、石畳を境に上下に分けられ綱引きが行われていました。近くには、下組が綱を編んだ場所や綱引きに拝む場所も残されており、石畳道は棚原の歴史を語る上で、大切な場所だといえるのではないのでしょうか。

写真①は昭和56年の写真。石畳の右側には石垣の屋敷囲い、左側は竹垣となっており、なかなかの風情ですよね。

写真②は、昭和63年の写真。左側は新たに石垣が積まれ、その上に竹が植えられています。

歴史文化に関わる仕事をしていると、いろいろな景色に出会うことがあります。たとえば、棚原公民館裏(南側)を通る文化財の石畳道。戦前は、石畳を境に上下に分けられ綱引きが行われていました。近くには、下組が綱を編んだ場所や綱引きに拝む場所も残されており、石畳道は棚原の歴史を語る上で、大切な場所だといえるのではないのでしょうか。

写真③は、平成15年に撮影された写真。どこが変わったか、お気づきでしょうか。そう、左側の竹がなくなっていました。

写真④は、平成28年の写真(最新版)。左側には電信柱が建ち、右側には住宅が新築され、昔ながらの石垣からコンクリート擁壁にとって代わりました。その表面は、町教育委員会によって、石畳道にそぐよう石灰岩の化粧石が張り付けられました。

このように、文化財の現地を調査で訪れるたびに、景色の移り変わりのはやさと、記録保存の必要性を感じています。また、石畳道という文化財単体だけでなく、周辺の石垣や樹木といった景観も含めて保存していくことが大切だと感じるので、みなさんも、記録している写真がありますか。

写真③は、平成15年に撮影された写真。どこが変わったか、お気づきでしょうか。そう、左側の竹がなくなっていました。

写真④は、平成28年の写真(最新版)。左側には電信柱が建ち、右側には住宅が新築され、昔ながらの石垣からコンクリート擁壁にとって代わりました。その表面は、町教育委員会によって、石畳道にそぐよう石灰岩の化粧石が張り付けられました。

このように、文化財の現地を調査で訪れるたびに、景色の移り変わりのはやさと、記録保存の必要性を感じています。また、石畳道という文化財単体だけでなく、周辺の石垣や樹木といった景観も含めて保存していくことが大切だと感じるので、みなさんも、記録している写真がありますか。



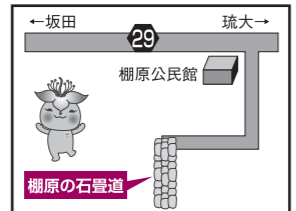
②

①



④

③



【お問い合わせ】
西原町教育部
生涯学習課
文化財係
☎ 944-4998